薬用植物の植物工場栽培参入可能性を探る

植物工場における
薬用植物の生産技術とビジネスモデル

日 時　2013年4月17日（水）　13：00～16：40

会 場　あすか会議室　902号室　（千代田区神田小川町2丁目1番地7　日本地所第7ビル）

受講料　31,500円（税込）→　STbook会員価格 29,400円（税込）　＊資料代含む

講　師

第1部　後藤 英司　氏
千葉大学　大学院園芸学研究科 環境調節工学研究室 教授

第2部　吉松 嘉代　氏
（独）医薬基盤研究所
薬用植物資源研究センター筑波研究部　育種生理研究室長

第3部　松尾 誠也　氏
（株）NTTファシリティーズ　スマートビジネス部　農業ビジネス推進室農業ビジネスアドバイザー

プログラム

第1部　植物工場による薬用植物生産の技術開発
後藤 英司　氏　【13:00～14:30】

薬用植物は、生薬原料として用いられるだけでなく薬用以外にも様々な商品に用いられている。薬用植物は従来から露地で栽培されており、温室（ビニールハウスやガラス室）を用いる施設栽培の事例はまだ少ない状況である。最近、葉菜類、果菜類、花きの周年生産を行う太陽光利用型植物工場や、人工光だけで葉菜類を生産する人工光型植物工場が増えている。

しかし薬用植物については、施設栽培の技術蓄積が無いため、植物工場での薬用植物栽培は商業化に至っていない。薬用植物の植物工場栽培化には、その生理生態を理解した上で施設園芸作物の栽培技術を最大限導入するのがよい。本講演では、薬用植物の栽培生理的な特徴と、今後植物工場において生産を行うために必要な技術について解説する。

1. 施設園芸・植物工場の栽培技術
2. 薬用植物の生理生態
3. 植物体内成分に影響を及ぼす生育環境とその制御
4. 植物工場を用いた薬用植物生産の技術的課題
5. まとめ

第2部　植物工場での生薬生産に適した薬用植物優良苗の育成
吉松 嘉代　氏　【14:40～15:40】

超高齢化社会の日本では生活習慣病、認知症等が増加し、漢方薬を処方される例が増加し、2011年調査では、漢方薬を処方する医師は89%に上る。しかし、漢方薬の原料となる生薬の国内自給率はわずか10%であり、その大半が中国から輸入されているが、中国の物価や人件費上昇、中国国内及び外国での需要増加、中国での採取・輸出規制に伴い、生薬供給価格が高騰し、その安定供給が危ぶまれている。我々は、生薬の安心・安全な安定供給のため、植物工場における薬用植物の生産研究を行っており、ウラルカンゾウを中心にその成果を紹介したい。

1. （独）医薬基盤研究所　薬用植物資源研究センターの紹介
2. ウラルカンゾウの養液栽培による甘草及びグリチルリチン酸生産
3. 経済産業省プロジェクト「植物機能を活用した高度モノ作り基盤技術開発/植物利用高付加価値物質製造基盤技術開発」（2009-2013）
4. 今後の展望と課題

第3部　植物工場における薬用植物生産のビジネス戦略
松尾 誠也　氏　【15:40～16:40】

植物工場ブームが去り、新しい植物生産手段としての植物工場が定着しつつあるが、その様な中で、事業者の最大の関心事は、「一体、何を栽培すればもうかるか?」という事業採算性の観点からの検討が中心になってきている。事業採算性の確保については、もちろん栽培システムの優劣にも深く関係しているが、「なにを栽培して」「どこに販売するか」が極めて重要なポイントとなる。

本講座では、植栽作物の選択肢の一つとしての「薬用植物」に焦点を当て、そもそも薬用植物とは何かを出発点に、薬用植物の状況、薬用植物栽培の課題と問題点を論じ、薬用植物生産を行うとした場合のビジネス戦略について言及する。

1. 植物工場ビジネス(ビジネス視点からの植物工場)
2. 薬用植物
3. 薬用植物栽培事業のビジネスモデル構築のポイント
4. 新しい視点での植栽植物の選定

このセミナーは終了しました

セミナー申込用紙

セミナー名：ST130417（植物工場における薬用植物の生産技術とビジネスモデル）　DM

会社名 団体名			
部署・役職			
ふりがな 氏　名		住　所	〒
TEL		FAX	
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。		
STbook会員（無料）に　□入会する　□登録済み	※E-mailアドレスが必須です。 ※左に✓印をつけてご入会いただくと、この申込からSTbook会員価格で申込できます。		
今後、弊社からのご案内が不要な方は以下に ✓印をつけてください。 □郵送DM不要　□E-mail不要	通信欄		

支払方法
□振込
□当日現金
※銀行振込の場合は振込予定日を記載ください
月　日

※左記ご記入の上、FAX 03-3261-0238 までお申込みください。
※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

■お申込み方法
必要事項をご記入の上，FAXでお申込みください。
または当社ホームページからお申し込みください。

■受付完了のご連絡
受付完了後，3営業日以内に請求書，受講券，会場案内図を郵送いたします。

■お支払
銀行振込にてお願いいたします。
受講料のご入金は，開催日までにお願いいたします。やむなく開催日以降にご入金の場合は，当日現金でお支払またはお申込みの際に振込予定日をご記入ください。
銀行振込の場合，領収証の発行はいたしません。

■個人情報の取り扱い
ご記入の個人情報は，商品の発送，事務連絡，ご案内等に使用いたします。

S&T出版株式会社
TEL 03-3261-0230　FAX 03-3261-0238　http://www.stbook.co.jp/
〒101-0065　東京都千代田区西神田2-5-8 共和15番館ビル2F